

第一線監督者・リーダーの生産マネジメント

●受講期間 2ヵ月

●受講料 15,400円

…他

マルチデバイス対応

■テキスト2冊(Webテキストも閲覧可)■添削レポート2回(Web提出可)

トヨタ生産方式(TPS)を基本に、生産革新への取り組みを具体化

日本の"ものづくり"の強みである「品質」の水準の高め方を具体化

環境・安全衛生マネジメントシステムの理解を深め、リスク管理を具体化

「事例(改善事例)」や「チェックリスト」中心のわかりやすい構成



●第1単元

トヨタ生産方式による 生産管理とコストダウンのすすめ方 「生産革新]

- •トヨタ生産方式の基本的なフレームワーク
- ・徹底したムダの排除が「改善」の第一歩
- 管理システムを製品別に一気通貫する
- ・小回りのきく生産設備にする(コンピューター化の弊害)
- 「見込み生産」から「受注生産」に(まとめ生産の弊害とその改革)
- ・生産計画のスピードアップ(週単位から時間単位に)
- ・多工程持ちの多能化をすすめる(「省人化」「少人化」) ・仕事は流れるようにすすめる(「平準化」「整流化」)
- ・ムダを隠す場所を廃止する(在庫削減とリードタイムの短縮)
- ・利益を生み出すコストダウンの取り組み

●第2単元

品質·環境·安全衛生 マネジメントのすすめ方 「マネジメントシステム]

- ・マネジメントシステムとしての品質・環境・安全衛生管理
- ・品質低下が会社を潰す ―― 欠陥コストの改善
- ・QC手法をもう一度基礎から見直す
- ・日本の製造業の品質の優位性をどう取り戻すか
- ・品質マネジメントシステム(ISO9000)と現場の品質管理・リスク管理としてのマネジメントシステムの活用
- ・環境マネジメントシステム(ISO14000)の展開と現場の役割
- ・安全衛生マネジメントシステムと現場の安全衛生管理 ・安全衛生管理体制を現場にどう定着させるか
- ・災害発生の実際と防止のポイント

…他